

## 1 4 交通・情報

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02 総務費	01 総務管理費	01 一般管理費	672,963
一般	02 総務費	02 企画費	02 計画調査費	180,771
一般	02 総務費	02 企画費	03 運輸交通対策費	2,581,191
一般	08 土木費	01 土木管理費	01 土木総務費	247,457
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	01 道路橋りょう総務費	288,333
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	02 道路維持費	2,726,456
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	03 道路新設改良費	18,821,436
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	04 交通安全対策費	1,877,566
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	05 橋りょう維持費	904,260
一般	08 土木費	04 港湾費	02 港湾建設費	2,973,603
一般	08 土木費	05 都市計画費	02 街路事業費	4,855,770
特別	01 港湾等整備事業費	01 港湾等整備事業費	01 施設等整備事業費	1,925,598
特別	01 港湾等整備事業費	03 空港周辺整備事業費	01 空港周辺臨海土地造成事業費	857,632

### 1 陸上交通網の拡充

#### 1 道路網の整備（都市計画課，道路整備課，高規格道路課）

##### 1(1) 交流圏拡大のための幹線道路の整備

###### ア 高速道路等の整備

###### (ア) 本州四国連絡橋神戸・鳴門ルート of 整備促進

本州四国連絡高速道路に係る業務の安定化に資するため，地方公共団体出資金の平成 20 年度分 266 億 6,700 万円のうち，徳島県分 20 億 9,720 万円の出資を行った。

###### (イ) 紀淡連絡道路の事業促進

紀淡連絡道路の整備促進に向けて，大阪湾環状紀淡連絡道路建設推進協議会と連携し，要望活動，広報活動等を実施した。

###### (ウ) 四国縦貫自動車道の整備促進

本県関係の四国縦貫自動車道については，昭和 56 年 1 月に徳島 - 脇町間 41.2km，昭和 63 年 6 月に脇町 - 美馬間 11.5km，さらに，平成 3 年 1 月に美馬 - 川之江間 42.6km（うち本県分 36.1km）の路線発表がなされた。県では，昭和 57 年度から日本道路公団（平成 17 年 10 月 1 日から西日本高速道路株式会社）より用地取得事務委託を受けるとともに，昭和 61 年度から県事業として，高速道路周辺特別対策事業費補助金，代替地先行取得資金利子補給補助金，関

運営農施設等整備事業費補助金の交付制度を設け事業促進を図った。そして、平成6年3月に藍住 - 脇町間、平成7年8月に徳島 - 藍住間、平成9年12月に脇町 - 美馬間、平成11年3月に美馬 - 井川池田間、平成12年3月に井川池田 - 川之江東間がそれぞれ供用され、これにより徳島自動車道が全線開通した。また、平成19年3月には、脇町 - 美馬間の下り車線に延長約1kmの「ゆずり車線」が供用された。

#### (I) 四国横断自動車道の整備促進

本県関係の四国横断自動車道については、平成元年2月に徳島 - 津田間47kmが基本計画区間に、また平成3年12月には、鳴門 - 津田間36kmが整備計画区間に、阿南 - 徳島間22kmが基本計画区間に、それぞれ格上げされた。そして、平成8年12月には、小松島 - 鳴門間23kmが整備計画区間に、平成10年12月には阿南 - 小松島間10kmが整備計画区間にそれぞれ格上げされた。鳴門 - 津田間については、平成5年11月に施行命令が出され、平成6年5月には事業説明会が行われ、板野 - 津田間25.7km（うち本県分5.8km）が平成13年3月に、鳴門 - 板野間10.5kmが平成14年7月に供用された。

小松島 - 鳴門間については、平成10年12月に施行命令が出され、そのうち、徳島 - 鳴門間については平成17年7月に全地区で設計協議が完了し、その後用地買収を推進し、平成19年度末からは全工区に渡る工事が発注され、順調に進捗している。

阿南 - 小松島間については、平成15年12月の第1回国土開発幹線自動車道建設会議で「新直轄方式」による整備が認められ、平成17年10月に地元説明会を開催し、その後現地調査に着手している。また、平成18年2月の第2回国土開発幹線自動車道建設会議で小松島 - 徳島東間が新たに「新直轄方式」で、徳島東 - 鳴門間が「有料道路方式」で整備することが認められた。

平成19年3月には、阿南 - 小松島間において、高速道路の無料化に対応する構造とするために、料金所の撤去をはじめとするインターチェンジ構造等に関する都市計画を一部変更した。

また、平成19年2月に阿南市で、7月に小松島市で順次設計協議に着手し、平成20年2月には阿南市の1地区で、9月には小松島市の3地区で、平成21年1月には小松島市の1地区で設計協議妥結したほか、平成20年12月に「新那賀川橋」の起工式が行われた。

小松島 - 徳島東間においては、平成21年3月に徳島市1地区で設計協議着手するなど国土交通省に協力し、整備促進に努めた。

なお、平成14年度には、従前からの高速道路周辺特別対策事業費補助金等の交付制度に加え、新たに高速道路整備支援事業費補助金制度を創設し、事業促進を図っている。

#### イ 地域高規格道路の整備

##### (ア) 阿南安芸自動車道の整備促進

一般国道55号日和佐道路、牟岐バイパスの整備及び福井道路・桑野道路の調査に、国土交通省に協力し、その促進に努めた。

##### (イ) 徳島環状道路の整備促進

一般国道192号徳島南環状道路及び県道徳島環状線（徳島市国府町～板野郡藍住町、徳島市安宅町～八万町）の整備促進に努めた。

#### ウ 主要幹線道路の整備

##### (ア) 一般国道55号阿南道路及び日和佐道路の整備

55号阿南道路は、延長21.0kmで国土交通省事業として昭和48年度に事業化され、平成19年12月までに小松島市大林町から阿南市津乃峰町東分までの15.5kmが供用（暫定2車線区間

含む)されている。このうち、小松島市大林町から南へ向けての 6.9km と、阿南市西路見町から津乃峰町東分までの 6.0km の 12.9km は 4 車線化されている。

現在、阿南市津乃峰町から橘町までの間で用地買収・工事が進められている。

55 号日和佐道路は、延長 9.3km で国土交通省事業として平成 7 年度に事業化され、由岐 IC ~ 美波町北河内間 6.2km については、平成 19 年 5 月に部分供用され、残区間についても早期供用を目指して整備が進められている。

(イ) 一般国道 192 号徳島南環状道路の整備

192 号徳島南環状道路は、延長 9.5km で国土交通省事業として昭和 61 年度に事業化され、平成 12 年 4 月までに、徳島市国府町内で 2.6km の側道が供用されている。現在は、徳島市一宮町僧津山から八万町大野までの間で用地買収・工事が進められている。

(ウ) 一般国道 32 号猪ノ鼻道路及び改築防災（大歩危工区）の整備

32 号猪ノ鼻道路は、延長 8.4km で国土交通省事業として平成 15 年度に事業化され、現在は用地交渉・工事等が進められている。32 号改築防災は、延長 16.8km で国土交通省事業として昭和 47 年に事業化され、平成 10 年までに延長約 1.0km を供用している。現在、大歩危工区 2.5km について、トンネルの詳細設計、用地調査の作業及び用地買収が進められている。

1(2) 都市とその周辺道路の整備

ア 放射・環状道路の整備

徳島市中心部の交通混雑の緩和を図るため、県道徳島環状線、都市計画道路徳島東環状線等の放射・環状道路の整備促進に努めた。

	放射・環状道路の整備	
	事業量	事業費(千円)
補助	1,357 m	8,705,585
県単	6 箇所	149,860
計		8,855,445

イ 都市部の幹線道路の整備及び高速道路の IC アクセス道路の整備

都市とその周辺地域の交通の円滑化を図るため、都市計画道路芝生日ノ峰線等の整備促進に努めた。

	幹線道路の整備	
	事業量	事業費(千円)
補助	153 m	524,700
県単	4 箇所	66,928
計		591,628

放射・環状道路を除く

1(3) 安全快適で信頼性の高い道路の整備

安全快適で信頼性の高い道づくりを進めるため、落石、震災対策などの防災対策の促進に努めた。

## 橋梁修繕

	橋梁の整備	
	事業量	事業費(千円)
震災対策	8橋	300,000
再塗装	10橋	128,800
一般修繕	53橋	543,800
計		972,600

### 橋りょう長寿命化修繕計画の策定

県管理橋りょうについて、今後急速に進む老朽化に対応し、対処療法的修繕から予防的な修繕に移行するため、602橋について長寿命化修繕計画を策定した。

## 1(4) 地域の振興を図る道路の整備

### ア 広域的生活圏に必要な国，県道の整備

#### (ア) 国，県道の整備

地域間交通の円滑化，地方における定住基盤の充実，地域の活性化等を図るため，県都徳島市と主要な都市を結ぶ路線，さらに，主要な都市と各市町村役場所在地との間や，各地域の観光拠点等を結ぶ路線の整備促進に努めた。

	1時間交流連携道路網の整備	
	事業量	事業費(千円)
補助	2,251 m	7,194,347
県単	22箇所	663,628
計		7,857,975

	(放射・環状道路，都市部の幹線道路，1時間交流連携道路網)以外の道路整備	
	事業量	事業費(千円)
補助	515 m	2,786,703
県単	65箇所	2,438,797
計		5,225,500

#### (イ) 「道の駅」等の整備

休憩・交流連携の場となる「道の駅」については，既存施設を活用した道の駅整備の促進に努めた。

#### (ウ) 市町村合併支援道路の整備

合併市町村の一体化を促進するため、地域公共施設のネットワークを形成する路線の整備促進に努めた。

	市町村合併支援道路の整備（再掲）	
	事業量	事業費（千円）
補助	574 m	2,750,821
県単	86箇所	1,487,614
計		4,238,435

## イ 市町村道の整備

### (ア) 市町村道の整備

幹線市町道（2路線）を170,000千円（国補）で整備し、人口の減少を防止するとともに、過疎地域の基盤を強化し、住民福祉の向上と地域格差の是正を図った。

## 2 鉄道・バス路線網の整備（交通政策課）

### 2(1) 鉄道網の整備

#### ア 阿佐東線の活性化

第3セクター鉄道阿佐東線（海部 - 甲浦間 8.5km）の健全経営を図るため、阿佐海岸鉄道（株）、地元関係町、四国旅客鉄道（株）等との調整協議を行うとともに、共同で阿佐東線の利用促進活動を行った。

また、阿佐東線の維持存続のため、阿佐海岸鉄道（株）の経常損失額の一部に対し補助する阿佐東線活性化事業を実施した。

#### イ JR線の活性化

省エネルギー鉄道車両の導入を促進するために、導入の障害となっているプラットホームのかさ上げに対し支援を行った。

区分	補助金額	備考
省エネルギー鉄道車両導入促進事業費補助金	5,833千円	JR牟岐線内3駅

### 2(2) バス路線網の整備

#### ア 生活バス路線の確保

地域住民の輸送を確保するために路線バス事業者及び市町村に対し、補助金を交付することにより、かけがえのない公共輸送機関である生活バス路線網を確保することができた。

##### (ア) 地方バス路線の維持

路線バス事業者の不採算路線に対し、広域的・幹線的生活バス路線活性化事業等として221,495千円を交付した。

##### (イ) 市町村生活交通網の確保

地域住民にとって必要不可欠な生活バス路線の維持等のために、柔軟・多様な方法による交

通手段を図る市町村に対し，市町村生活交通ネットワーク構築支援費補助金として 46,781 千円を交付した。

(ウ) バス利用促進等総合対策補助金

路線バスの利用促進のための設備整備やノンステップバスを購入する事業者に対し，補助金 15,076 千円を交付した。

平成 20 年度 地方バス路線の補助金実績

区分	補助金額	備考
広域的・幹線的生活バス路線 活性化事業及び車両購入費補助金	221,495 千円	系統数 51 補助車両数 4 両
市町村生活交通ネットワーク構築 支 援 費 補 助 金	46,781 千円	系統数 106
バス利用促進等総合対策補助金	15,076 千円	補助車両数 2 両 バス乗り場整備 2
計	283,352 千円	系統数 157 補助車両数 6 両 バス乗り場整備 2

## 2 海上交通網の拡充

### 1 港湾の整備（港湾空港企画課）

#### 1(1) 徳島小松島港の整備

##### ア 赤石地区の整備

###### (ア) 港湾改修事業

徳島小松島港赤石地区において，赤石地区公共ふ頭等港湾施設の整備を図った。

##### イ マリンピア沖洲地区の整備

###### (ア) 港湾改修事業

徳島小松島港沖洲地区において，小型船だまり・臨港道路等港湾施設の整備を図った。

#### 1(2) 橋港の整備

##### ア 橋港公共用地計画の整備推進（小勝・後戸地区）

###### (ア) 県単独港湾整備事業

土地造成の進捗を図った。

##### イ 国内物流港の整備（西浜地区）

###### (ア) 港湾改修事業

岸壁の整備を行った。

事業名	H20年度事業費
直轄事業	196,282 千円
港湾改修（重要）事業	295,200

### 1(3) 安全・安心な港湾施設の整備

港湾施設の老朽化に備え、必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため岸壁等の港湾構造物 14 施設について、長寿命化計画を策定した。

## 3 航空交通網の拡充

### 1 徳島空港の整備（港湾空港企画課空港地域整備室）

平成 22 年度の徳島空港 2,500 m 滑走路の供用開始に向けて整備が図られた。

### 2 徳島空港周辺の整備（港湾空港企画課空港地域整備室）

空港の持つ機能を支援及び活用するための業務施設用地等の整備を図った。

### 3 航空ネットワークの整備（交通政策課）

#### 3(1) 国内他地域との航空交通網の確保・拡充

航空需要に対応した航空路線の確保・拡充について、航空会社等関係機関に対して要望活動を行った。

#### 3(2) 国際チャーター便の推進

海外との人、物、情報の交流を促進し、本県の国際化、経済の活性化を図るため、国際チャーター便の推進に努めた。

### 4 関西国際空港の整備促進（交通政策課）

関西国際空港の全体構想推進のため関係機関との協議や要望活動を行った結果、2 期事業が推進された。

## 4 高度情報化の推進

### 1 e - とくしま基盤整備促進事業（地域情報政策課）

#### 1(1) 携帯電話等エリア整備（促進）事業（移動通信用鉄塔施設整備事業）

携帯電話の利用ができない地域の解消を目的とする、携帯電話エリアの整備を行う市町村に対しての補助制度を拡充した。

- 2 e - とくしま戦略推進事業（地域情報政策課）  
「e - とくしま推進プラン」の適切な進行管理を図るとともに、進捗状況の評価を踏まえた上で、協働目標の一部について見直し、改定を行った。  
また、財団法人e - とくしま推進財団により、官民が一体となって地域情報化施策を推進した。
- 3 次世代「e - 県庁」推進事業（情報システム課情報化戦略室）  
CIO（最高情報統括監）を中心としたICTガバナンス体制のもとで、行政の簡素・効率化と県民サービスの向上を目指した「業務・システム最適化」を推進するとともに、情報システム調達の適正化や情報セキュリティの確保に取り組んだ。
- 4 総務事務システム構築事業（情報システム課情報化戦略室）  
県民サービスとは直結しない内部管理的な業務について、ICTを活用した集中処理等による業務処理の効率化・省力化を進め、業務コストの削減を図るため、総務事務システムの構築を推進した。
- 5 ホームページシステム更新事業（情報システム課）  
誰もがより使いやすいホームページを目指すとともに、ホームページの修正やチェックといった管理業務の効率化を図るため、新たにオープンソースソフトウェアを使用して新ホームページ作成システム（徳島県CMS）を構築した。
- 6 電子自治体共通基盤整備事業（地域情報政策課）  
行政手続きのオンライン化を実現するため、県と市町村が共同で構築した電子申請・届出システムの運用を図るとともに、現行システムの更改を実施した。
- 7 公的個人認証サービス整備事業（地域情報政策課）  
オンラインによる申請・届出等における本人確認手段である「公的個人認証サービス」を県と市町村が連携して県民に提供した。
- 8 電子入札・電子納品等推進事業（建設管理課）  
電子入札について、県内市町村への導入促進の取り組みとして、県の電子入札システムの共同利用について普及・啓発を行った。現在4市（吉野川市・阿波市・美馬市・三好市）で試行運用中。  
電子納品について、土木工事の試行運用（3千万円以上の工事を対象）を開始。
- 9 地域ICT未来フェスタ開催事業（地域情報政策課）  
平成20年11月7日(金)から9日(日)までの3日間、アスティとくしまをメイン会場に我が国最大級の地域情報化の祭典を開催し、多くの皆様に、ICTが創る未来を楽しみながら体感いただくとともに、過疎化が進む中山間地域の処方箋としてのICT、「徳島の元気と先進性」を全国に向けて大いに発信した。